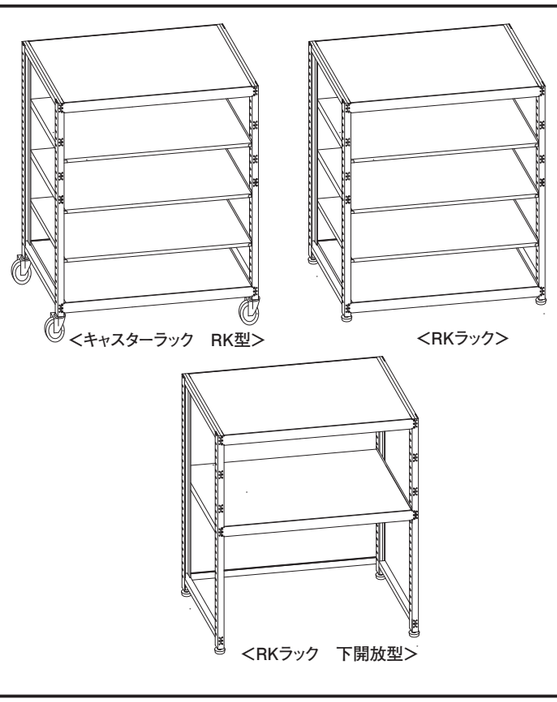
キャスターラック　RK型
RKラック
RKラック　下開放型

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



サカエ
大阪市城東区成育5丁目22―9
お客様相談室　フリーダイヤル 0120―575101
No.4009　20H-1

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

⚠安全上のご注意

1．１台あたりの最大荷重（均等分布耐荷重）は

＜キャスターラック　RK 型＞

棚板１段当たり	：250kg
全体　H1320・H1620×D450	：350kg
（キャスター径 100mm）	
H1350・H1650×D600・D750	：450kg
（キャスター径 125mm）	
H1970	：500kg
（キャスター径 150mm）	

＜RK ラック＞

棚板１段当たり	：250kg
全体	：1250kg

＜RK ラック　下開放型＞

棚板１段当たり	：250kg
全体	：600kg

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます。

2．製品の上に腰掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります
3．重量物は下段に置いて下さい。また、重量物は注意して置いて下さい。
4．棚板に大きな衝撃を与えないで下さい。変形、破損の原因になります。
5．使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだまま使用していますと、変形や破損及び転倒などの原因となります。
6．製品の分解・改造や部品を外したり、外れたままで使用しないで下さい。
7．可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
8．キャスター仕様は絨毯の上や床面悪路、段差のある所では使用しないで下さい。
9．キャスター仕様を設置するときは、必ずストッパーをロックして下さい
10．この製品を移動する時は荷物を降ろしてから移動させて下さい。また、キャスター仕様は台車や運搬車の代わりとして使用しないで下さい。
11．壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しないで下さい。破損してけがをしたり、健康を害する恐れがあります。
12．傾斜地では使用しないで下さい。ラックが転倒する恐れがあり、人や物に当りけがや破損する恐れがあります。

◆使用上のご注意

1．この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2．直射日光の当るところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3．製品の上に高温になった機具類を直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4．製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いた布で拭き取って下さい。
5．消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
6．キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
7．特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8．製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の１～３の手順を守って汚れを落として下さい。

1．薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2．水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3．乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、１～３の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。
※枕木を2本ご用意ください。組み立てが容易になり、製品や床への傷つきを軽減します。
※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

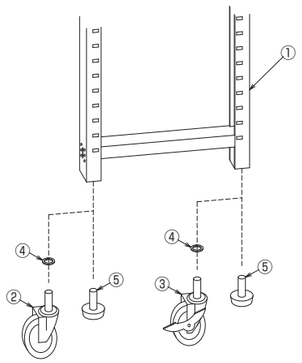
組み立てかた

■ひずみなく製品を組み立てるために

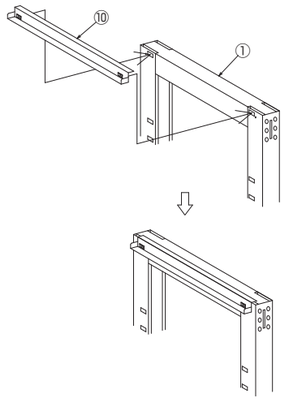
- ●組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。
- ●完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

【キャスター ラック　RK 型／RK ラック】

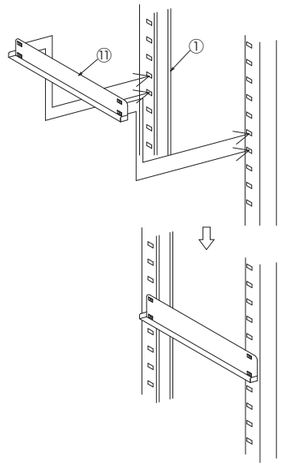
1 「キャスターラック RK 型」の場合はスプリングワッシャ④を取り付けたキャスター②③を、「RKラック」の場合はアジャスター⑤を支柱①にねじ込みます。
※キャスターを取り付ける場合はストッパー付キャスター③が対角になるように組み立ててください。



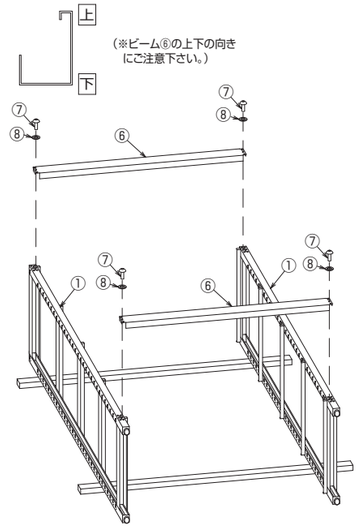
2 天棚受⑩を支柱の最上段にプラスチックハンマーを用いて取り付けます。



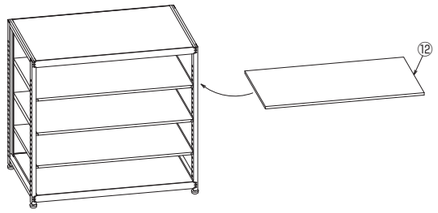
3 棚受⑪を最下段と任意の高さにプラスチックハンマーを用いて取り付けます。



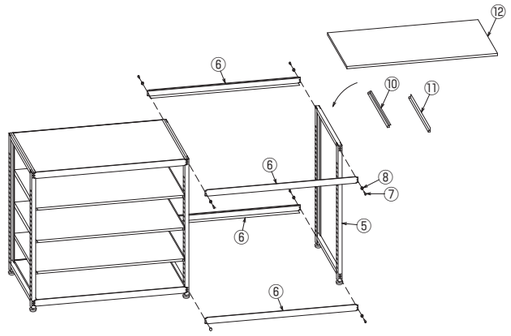
4 支柱①とビーム⑥を六角穴付ボタンボルト⑦ワッシャ⑧ナット⑨で取り付けます。
同様に反対側も取り付けてください。



5 ラックを起こして棚板⑫をセットしてください。



6 RKラックで連結する場合は一度単体でラックを組み、その後立てたまま連結部材を組み立ててください。
※キャスターラック　RK型では連結できません。

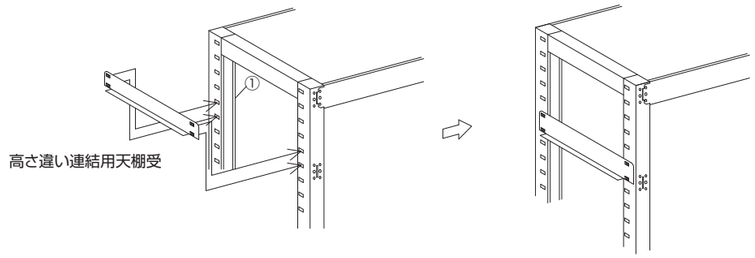


部　品　明　細

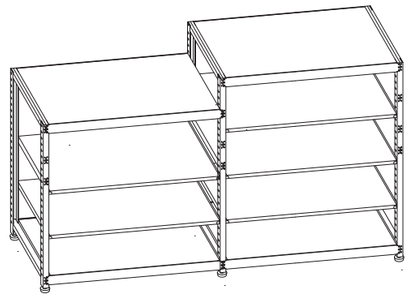
番号	品名	キャスター ラック　RK 型			RK ラック（単体）			RK ラック（連結）			RK ラック　下開放型
		棚3段	棚4段	棚5段	棚3段	棚4段	棚5段	棚3段	棚4段	棚5段	棚2段
①	支柱	2			2			1			2
②	キャスター（ストッパー無し）	2			−			−			−
③	キャスター（ストッパー有り）	2			−			−			−
④	スプリングワッシャ　M20 用	4			−			−			−
⑤	アジャスター	−			4			2			4
⑥	ビーム	4			4			4			4
⑦	六角穴付ボタンボルト　M8×12L	8			8			8			8
⑧	ワッシャ　M8 用	8			8			8			8
⑨	セレイト付フランジナット　M8	8			8			8			8
⑩	天棚受	2			2			2			2
⑪	棚受	4	6	8	4	6	8	4	6	8	2
⑫	棚板	3	4	5	3	4	5	3	4	5	2

【高さ違い連結の仕方】

1 背の高いラックに高さ違い連結専用の天棚受を取り付けます。高さの低いラックに取り付ける天棚受と同じ位置に来るように取り付けて下さい。

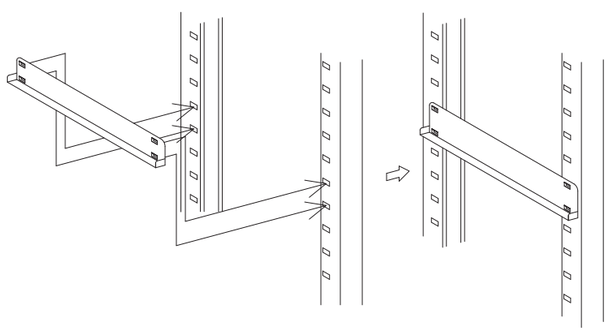


2 キャスターラック／ RK ラックの 6 を参考に組み立てて下さい。

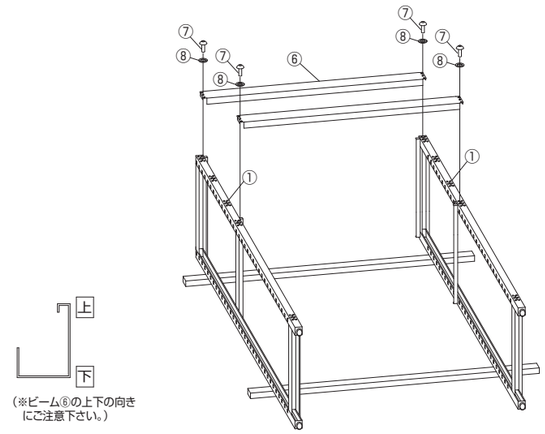


【RK ラック　下開放型】

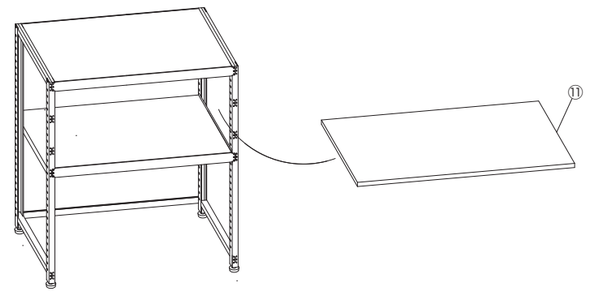
1 キャスターラック RK型／RKラック1～2まで同じように組み立てて下さい。
次に支柱の下から18、19個目の角穴に⑪棚受を取り付けて下さい。



2 支柱①とビーム⑥を六角穴付ボタンボルト⑦ワッシャ⑧ナット⑨で取付ます。
片側は最下段、下開放となる側は下から２段目のビーム取付穴にビーム⑥を取り付けて下さい。



3 ラックを起こして棚板⑫をセットしてください。



4 連結を行う場合はキャスターラック／RKラックの6を参考に組み立てて下さい。